

[優秀賞]

◇ 「自分らしさ」はすばらしい

多田小学校 6年 岩崎 樹李



男女共同参画とは、性別、年齢、職業などに関わりなく、だれもがおたがいの人権を認め合い、一人一人の個性や能力を十分に發揮することができる社会、またそれをを目指すことです。そのため、私は自分の身近なところで男女共同参画社会は進んでいるのかと考えてみました。そして、思いついたことが五つありました。

まず、一つ目は、私の学校についてです。私の学校は、全校児童が37人で人数の少ない学校です。一か月に一度、なかよし班で遊ぶ共遊の時間があったり、一緒にそう除をしたりしています。班ごとに何かする時の役割は男女関係なく一人一人が得意なことをしています。

二つ目は、クラスの事です。私のクラスは、5年生と合同の複式学級です。委員会やクラブ活動はそれぞれが希望したものに入ります。去年は男子で創作クラブに入っている子がいたり、女子でスポーツクラブに入っている子もいました。学校での様子から、私の学校では、それぞれの個性や能力を尊重して生活することができているということに気付きました。

三つ目は、みんなが使っている物の色です。私のお母さんが小学生のころは、ランドセルの色が男子は黒、女子は赤を使っている子が多くいたそうです。今は自分の好きな色を選んで使うことができます。男子でも赤を使って良いし、女子が黒を使ってもいいようになりました。

四つ目は、服そうです。中学校や高校の制服を調べたところ、男子はズボンで、女子はスカートにしなくてはならないという決まりは特にありませんでした。特に女子の場合、好みに応じてズボンも選べる学校が多かったです。このように自分の着たい服を選べるのは良いことだと思いました。

五つ目は、家庭の中での男女の役割です。私の家では、お母さんとお父さんが共働きです。二人ともいそがしいので、家事を分担して、協力し合っています。以前は、男の人が働くのが当たり前の社会でしたが、今は私の家のように、両親が共に働きながら、家事を分担している家庭が多いと思います。性別に関係なく、おたがいに働いているからこそ、協力し合っているのはとてもすばらしいことだと思いました。

このように身近なところに目を向けても、男女共同参画が進んでいることが分かりました。私はこれからも、「女の子らしさ」や、「男の子らしさ」にとらわれず、「自分らしさ」を大切にして自分の良いところを見つけて、のばしていきたいと思いました。同時に周りの人たちの「自分らしさ」も見つけて、尊重していくようにしていきたいと思います。